

株式会社 資生堂、魚谷雅彦氏を第16代社長に決定

資生堂は、2013年12月24日（火）開催の取締役会において、2014年3月末日をもって代表取締役会長 兼 執行役員社長 前田新造が執行役員社長を退任し、同4月1日（火）より、株式会社ブランドヴィジョンの代表取締役社長で当社マーケティング統括顧問の魚谷雅彦（うおたに まさひこ）氏を執行役員社長とする役員人事を決定しましたのでお知らせいたします。

なお、魚谷雅彦氏は、2014年6月下旬に開催予定の第114回定時株主総会およびその後の取締役会の承認を経て代表取締役に就任する予定です。

また、前田新造は、2014年4月1日付で代表取締役会長となり、第114回定時株主総会の終結をもって代表取締役会長を退任し、相談役に就任する予定です。

資生堂は現在、「日本をオリジンとし、アジアを代表するグローバルプレイヤー」となることをめざし、成長性の回復と収益力の向上に取り組んでいます。本年4月1日より社長を兼務している前田は、徹底した「選択と集中」を推し進めるとともに、「成長の行く手を阻む経営課題」の解決策を講じ、将来への道筋をつけました。そして、新たなフェーズを新体制でスタートし、成長を確実なものとするべく、2014年4月1日付で、社長を交代することとしました。

現在、株式会社ブランドヴィジョン代表取締役社長である後任の魚谷雅彦氏は、日本コカ・コーラ株式会社の社長・会長を計10年務めるなど、経営者として十分な実績を有しています。特にマーケティングにおいては、「ジョージア」「爽健美茶」といったヒット商品を手がけるなど、その手腕は高く評価されています。また、2013年4月に当社のマーケティング統括顧問に就任し、多くの社員と当社の企業理念やものづくりにかける想いを共有しながら、当社の主力ブランドの育成を強かにリードしています。

高いレベルのマーケティング能力と、強いリーダーシップを有しているほか、グローバルビジネスの経験も豊富なことから、今後の当社の舵取りに最も適した人材です。

【魚谷雅彦氏の今後の抱負】

私のミッションは、前田社長が資生堂の再生に向けスタートを切った経営改革を、さらに「強化・加速・発展」させ、資生堂の次なるステージに向け、一層の革新と成長を実現することであると考えています。

このすばらしい資生堂を、50年後・100年後も今以上に輝きを放つ真の“グローバルカンパニー”として、大きく成長・発展できる企業にすることに、私の身命を賭す所存です。

魚谷雅彦氏 プロフィール



出身地	奈良県
1954年（昭和29年）	6月2日生まれ（59歳）
1977年（昭和52年）	同志社大学 文学部 英文学科卒業
1977年（昭和52年）	ライオン歯磨株式会社（現ライオン株式会社）入社
1983年（昭和58年）	米国コロンビア大学経営大学院卒業（MBA取得）
1991年（平成3年）	クラフト・ジャパン株式会社（現モンデリーズ・ジャパン株式会社） 代表取締役副社長
1994年（平成6年）	日本コカ・コーラ株式会社 取締役上級副社長・マーケティング本部長
2001年（平成13年）	同社 代表取締役社長（Global Officer）
2006年（平成18年）	同社 代表取締役会長（2011年12月退任）
2007年（平成19年）	株式会社ブランドヴィジョン 代表取締役社長（現）
2007年（平成19年）	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 特別顧問
2011年（平成23年）	アスクル株式会社 社外取締役
2012年（平成24年）	コカ・コーラウエスト株式会社 顧問（現）
2012年（平成24年）	株式会社 LIXIL 特別顧問（現）
2012年（平成24年）	シティバンク銀行株式会社 取締役（非常勤）（現）
2013年（平成25年）	当社 マーケティング統括顧問（現）

座右の銘：『志は高く、手近のものを片付ける』（小林 一三）

阪急電鉄創業者である小林一三氏（1872-1957）の、「志を高く持ちながら、日々のことをしっかりやり遂げることが、その志に到達する最も近道である」という意味の言葉。海外留学を志していた新卒当時、厳しい営業活動に挫折しそうになったときにこの言葉に出会った。その後、日々の営業活動に懸命に打ち込んで成果をあげ、念願の海外留学を果たすことにもつながった。

趣味：ゴルフ、海外旅行、ショッピングと生活者観察